

英語科学習指導案

授業日時 令和元年9月13日(金) 第5校時
授業学級 3年A組 男子19名 女子22名 計41名
授業会場 3年A組(401)教室
授業者 _____
指導教員 _____
指導者 _____

1 単元名 NEW HORIZON book3 Unit4 「To Our Future Generations」

2 単元目標

ア【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

ニコルの動画や震災や防災について関心を持ち、ニコルに自身の思いや考えを伝えようという思いをもてる。

イ【外国語表現の能力】

ニコルへの手紙にどんなことを書くことができそうか考えながら、思いを伝えたり、書くことができる。

ウ【外国語理解の能力】

本文の中澤さんの行動や思いを聞いた、読んだりすることを通して、内容を理解することができる。

エ【言語や文化についての知識・理解】

ニコルに返信するために、how to V, It is for 人 to V, want 人 to Vの表現・用法を正しく理解することができる。

3 単元展開(全5時間)

学習活動	時間	評価
ニコルから送られてきたインタビュー動画を見たり、内容を読んだりして、防災グッズを相手に説明することを通して、外国人に「教えてあげたい」という気持ちから、Unit Goalを確認した。	1	ア
ニコルのメッセージをペアで並び替える活動を通して、新出文法の用法等を理解した。	1	エ
「花は咲く」の動画を見て、本文の中澤さんの行動を読み通り、思いや願いについて、話し合った。	1	ウ
震災で有名になったり、活躍したもの・人について調べ、グループで伝え合った。	1	イ
これまでの授業を通して学んだことや伝えたいことを踏まえて、ニコル宛に手紙に書く。	1	イ
【本時】		

4 本時の主眼

フィリピン人のニコルさんの願いに応える場面で、単元での学習を振り返ったり、単元を通して学んだことや自分の経験を書いたりすることを通して、ニコル宛に手紙を書くことができる。

5 本時の位置(全5時間扱い中 第5時)

<前時>震災で活躍した人・モノについて紹介した。

6 指導上の留意点

- 辞書を用意して、すぐに調べることができるようにする。

7 展 開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	教師の支援 (・) と 評価	時間
導 入	1 ニコル宛にどのような手紙が書けそうかを考える。【全体】	◎初めの時間に動画をみたな。 ◎外国人は日本の震災時にどうするのか困ってしまうよね。 ◎ニコルは少し知っていたけど、もっと教えてあげたい。 ◎知っていることを伝えてあげたい。	・動画やメッセージのスライドを提示することで、相手に向けて、何を伝えたいという思いを持つことができるようにする。 ・メッセージをスライドで提示し、「ニコルはみんなにどうしてほしいの?」と問いかけることで、「ニコルは返信を待っている」という思いから本時の学習の見通しを持つことができるようにする。	5
	Today's Goal : 自分の知識や経験を伝え,Nicole に返信しよう。			
展 開	2 防災グッズと中澤さんの取り組みをスライドで振り返る。【全体】	◎震災に備えてなにをすればよいのだったか。 ◎いろいろな便利グッズがあったな。 ◎震災について、これからの思いを伝えたいな。 ◎中澤さんもバイオリンから思いを伝えていたな。 ◎震災で活躍したのものも書いたな。	・新たに知った防災グッズや中澤さんの取り組みのまとめを提示することで、なにを書けばよいか、書きたいかを見つけていくことができるようにする。 ・「ニコルはみんなのこと知っているかな?」と問いかけることで、どのように書けばよいか、何を工夫すれば伝わりやすいかを考えながら、書き進めることができるようにする。	5
	3 単元での学びや自分の経験や知ったことを書く。【個人】 4 友と手紙を読み合う。【全体】	◎相手は私たちのことを知らないから、自己紹介をしなければいけないな。 ◎気持ちを込めて、自分の思いを言いたいな。 ◎自分の知っていることや調べたことを伝えたいな。 ◎便利な防災グッズについて教えてあげているんだな。 ◎震災の様子や経験を伝えているな。 ◎絵や写真があって分かりやすい。 ◎支援の輪ってすごいな。	・机間指導の、一度手を止めて、手紙に書いてある内容を取り上げ、板書することで、書くアイデアをさらに広げることができるようにする。	25 10
終 末	6 本時の授業を振り返り、感想をワークシートに記入する。【個人】	◎自分の知らないこともあったから、学ぶことができた。 ◎自分の知識や経験、願いや思いなどを書くことができた。 ◎単元を通して、来日した外国人などに教えたいし、これから少しでも支援したいと思った。	・単元を通して学んだことや考えたことを返信として書いているかを生徒の取り組みの様子や手紙の内容から評価する。 ・手紙を書くことができない生徒には「何を伝えたい?」「何を知っているかな、学んだかな?」と問いかけたり、これまでの学習カードを見返すように促すことで、思いや考えを膨らませて書くことができるようにする。	5

6 板書計画

Today's Goal

自分の知識や経験を伝え,Nicole に返信しよう。

【内容】

- ・防災グッズ ・エピソード
- ・支援した人 ・思いや願い
- ・震災
- ・経験

スライド

準備するもの

- ・ Today's goal のカード
- ・ パソコン
- ・ 辞書
- ・ 手紙 80 枚
- ・ 封筒 41 枚

Nicole に返信しよう

No. _____ Name _____

Share time

NAME	GOOD POINT, 感想

REFLECTION ~本時&全5時間を通して~